

乳白粒防止のため早めに中干しを開始しましょう！

稲の活着は概ね良好です。過剰分けつ防止のため「中干し」は遅れずに実施しましょう。

◆天候と生育に合った水管理の徹底

- 1 稲の活着後または除草剤処理7日後には**浅水管理（水深2～3cm）に移行**してください。
- 2 田干しや除草剤使用時期以外は浅水とし、入水する場合は夕方か早朝に行ってください。
- 3 低温及び強風時は深水管理してください。
- 4 稲の生育に合わせて中干しを実施してください。

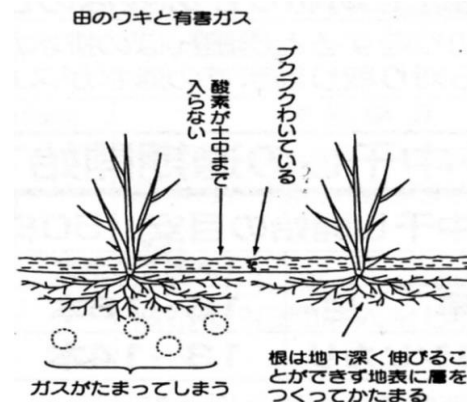
◆田干しの実施

中干しまでに田干しを2～3回行い、ガス抜きをし、根の張りを良くしましょう。

☆ガス抜きについて☆

有機物を施用した圃場や湿田では5月中旬以降、地温の上昇にともない有機物の分解が進み、ガスが発生しやすくなり、**根腐れの原因**となります。ガスが発生している圃場では、晴天時に田干しを実施し、ガス抜きをする必要があります。

※特に、除草剤（特に中期剤）の散布前には必ずガス抜きを実施してください。



◆中干し（落水）の目安

1 開始時期

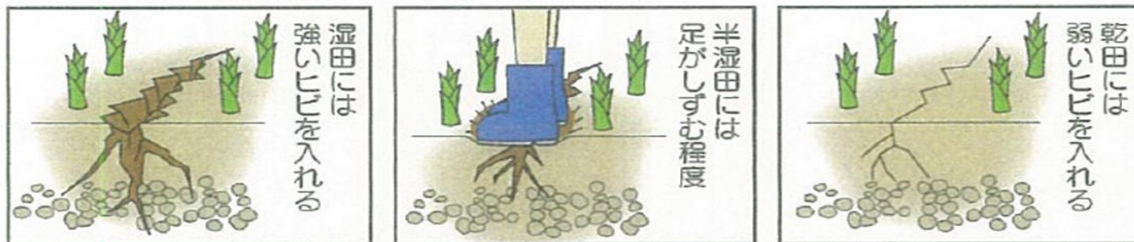
**田植え1ヶ月後
（6月初旬から）**

※ゆめみづほは5月末より開始する。

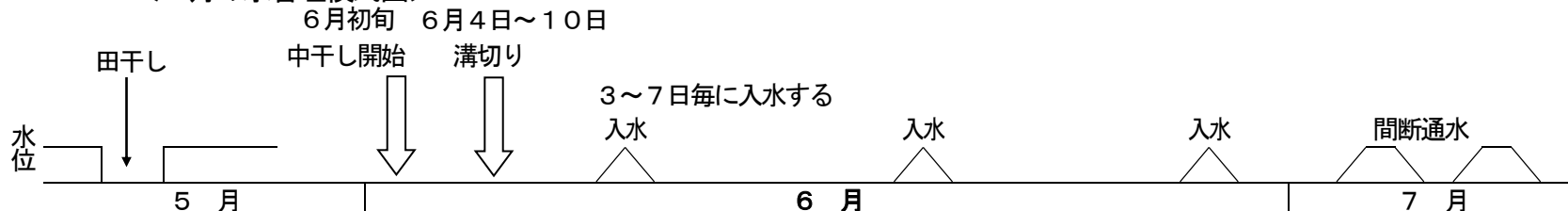
2 1株当たり茎数

- 15本（ゆめみづほ）
- 13本（コシヒカリ）
- 13本（ひやくまん穀）

3 乾湿田別の程度



<6月の水管理模式図>



中干し期間中でも、除草剤は散布できます！

※期間中、一時的に除草剤散布のため入水しても、中干しの効果は得られます。
（散布薬剤については裏面をご確認ください）

中干し・溝切りの効果

1. 無効分けつを抑え、茎を丈夫にする。
2. 節間を縮め、倒伏させない。
3. ガスを抜き、根張りを良くし、根の活力を高める。
4. 通水管理が容易になる。
5. コンバイン収穫に支障がでない。

中干しは遅れずに開始しましよ！

生産履歴を的確に記帳しよう。

農薬は登録内容を確認し正しく使用しましょう。

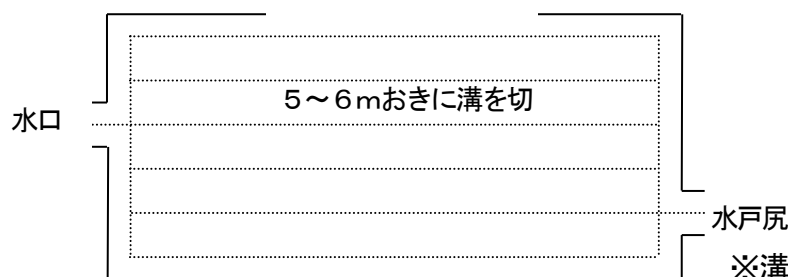
補植用の苗は早急に処分しましょう。

4 溝切り開始時期の目安

6月4日(土)～10日(金) ※一斉溝切りウィーク!!

5 溝切りで中干し効果が向上・間断通水が容易

【溝切りの方法】



大麦作付け予定圃場は必ず溝切りを行いましょ！

◆ 残った草の除草対策 ～ 農薬使用後は7日間止め水管理を徹底しましょう ～

処理場面	薬剤名	使用時期	10a 当たり使用量	注 意 事 項
ノビエが目立つとき	クリンチャー 1キロ粒剤	移植後7日～ノビエ4葉期 但し収穫30日前まで	1kg	湛水状態（水深3～5cm）を7日間保つ
		移植後25日～ノビエ5葉期 但し収穫30日前まで	1.5kg	
	クリンチャーEW（液剤）	移植後20日～ノビエ6葉期 但し収穫30日前まで	100ml 水 25～100 ㍓	展着剤を加用し、落水状態で散布する。
	クリンチャーバスME（液剤）	移植後15日～ノビエ5葉期 但し収穫50日前まで	1,000ml 水 70～100 ㍓	晴天時に完全落水して均一に散布する。3日間水を入れない。
広葉雑草が目立つとき	バサグラン粒剤	移植後15～55日 但し収穫60日前まで	3～4kg	落水後散布3日間水を入れない。
	バサグラン液剤	移植後15～55日 但し収穫50日前まで	500～700ml 水 70～100 ㍓	
ノビエ・広葉雑草がともに目立つとき	レブラス 1キロ粒剤	移植後14日～ノビエ4葉期 但し収穫60日前まで	1kg	湛水状態（水深3～5cm）を7日間保つ
	ワイドショット 1キロ粒剤	移植後15日～ノビエ4葉期 但し収穫45日前まで	1kg	湛水状態（水深3～5cm）を7日間保つ

※クリンチャーEW、クリンチャーバスME、バサグラン液剤は水で希釈して雑草の茎葉に散布する薬剤です。

◆ 箱施薬していない場合や直播圃場では葉いもち予防を行いましょ。

対象病害虫	使用時期	薬剤名	10a 当たり使用量	備 考
葉いもち	6月10日～15日	オリゼメート1キロ粒剤	1kg	湛水状態（水深3～5cm）で散布し、7日間止め水管理とする。

※補植苗の放置は葉いもちの発生源となります。早急に処分しましょ。

◆ 珪酸分の施用により稲体の健全化をはかろう。

肥料名	施用時期	10a 当たり施用量
珪酸加里プレミア	6月20日頃	40kg

詳しいことは営農指導員にお尋ね下さい。